



# 臨床腫瘍センターだより



第21号 (2010年1月13日)

## 薬剤部よりお知らせ

### アプレピタント製剤の導入

世界で汎用されている制吐剤、ニューロキニン1(NK1)拮抗薬であるアプレピタント(商品名イメンドカプセル)がようやく日本にも導入されました。現在はセット製品が臨時採用されており、電子カルテ「セット展開」を使用すると処方しやすくなっております。積極的な処方をご検討ください。

この薬剤は遅発性の悪心・嘔吐にも有効で、ASCOのガイドラインにも記載されています。1日目に125mgカプセルを、2日目と3日目に80mgカプセルを5-HT3拮抗薬と併用して内服します。なおデキサメサゾンとの併用時にはデキサメサゾンを減量することが推奨されています。またCYP3A4により代謝される抗癌剤(ドセタキセル、パクリタキセル、エトポシド、イリノテカン、イホスファミド、イマチニブ、ビンレルビン、ビンブラスチン、ピンクリスチンなど)やワルファリンと相互作用がありますのでご留意ください。詳細は添付文書を参照してください。

### 薬品名称変更に伴うレジメンシステムマスタの修正

レジメンシステムマスタの変更対象薬品は、下記いずれも新名称8品です。

変更前		変更後
デカドロン注射液 2mg0.5mL	→	デカドロン注射液 1.65mg
デカドロン注射液 8mg2mL	→	デカドロン注射液 6.6mg
トポテシン注 40mg	→	トポテシン点滴静注 40mg
トポテシン注 100mg	→	トポテシン点滴静注 100mg
タキソテル注 20mg	→	タキソテル点滴静注 20mg
タキソテル注 80mg	→	タキソテル点滴静注 80mg
シスプラチン注 10mg 「マルコ」	→	シスプラチン点滴静注 10mg 「マルコ」
シスプラチン注 50mg 「マルコ」	→	シスプラチン点滴静注 50mg 「マルコ」

1月8日に対象薬品の変更を行っております。1月12日以降のレジメンシステム入力については、新名称薬品で入力してください。また、デカドロン注射液については、含量表記も変更となるのでオーダー時にご注意ください。既に入っているオーダーは修正済みです。

### <12月の外来化学療法センター利用状況> 利用者数 220名

消化器外科 I	33	消化器内科	9
消化器外科 II	18	婦人科	18
乳腺外科	87	泌尿器科	4
呼吸器科	20	血液内科	4
呼吸器外科	1	小児科	21
皮膚科	3	内分泌	2
		合計	220



## お知らせ

### Cancer Board開催案内

骨軟部 2月15日(月) 18時

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的に開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。呼吸器・悪性リンパ腫・頭頸部・消化器については後日お知らせいたします。

### 臨床腫瘍セミナー開催案内

～ 医療と患者のすき間を埋める取り組み ～  
演題: 「がん哲学&がん哲学外来 ～医療の懸け橋～」  
講師: 順天堂大学医学病理・腫瘍学 教授 樋野 興夫 先生  
日時: 平成22年1月19日(火) 18時～19時  
場所: 第二臨床講義室

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。

